

学校広報紙

浦安



東海大学付属浦安高等学校中等部
東海大学付属浦安高等学校

電話：047-351-2371

URL：<http://www.urayasu.tokai.ed.jp/>

編集・発行：東海大学付属浦安高等学校・中等部

○自分で自分を育てよう

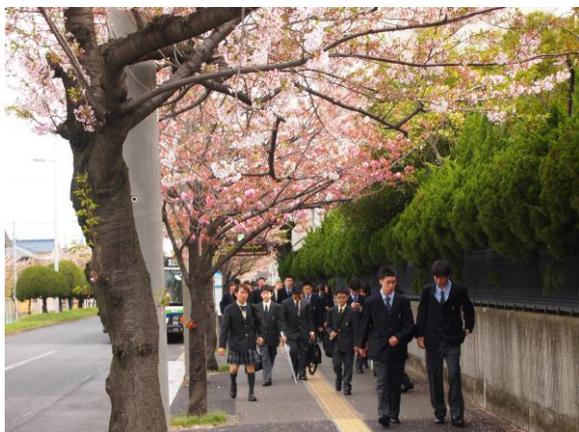
校長 小坂 秀王

4月9日、始業式では、生徒諸君に「自分で自分を育てよう」と話しました。

この心掛けをもつかどうかで、学校生活への取り組みかたが大きく変わってくるからです。例えば授業の場面では、「話を聞く」という点だけをみても、「自分で自分を育てよう」という気持ちがあれば、自ずと姿勢がちがってきます。部活動の場面では、基本練習さえも、自分でしっかりとその目的を考えて意欲的に取り組むことができるでしょう。

勉強や練習の際に、「やらされている」という気持ちではなく、「どうしたら自分を育てられるか」といつも考えられるようになってほしいのです。学校生活だけではありません。変化の著しい21世紀の社会で自分の人生を切り開いていくためには、生涯にわたって自分を育てていこうとする姿勢や「自分を育てる力」が求められているのです。中高時代は、まさにこの力を培うときです。付属校としての恵まれた環境の中で、文武両立を掲げて、何事にも積極的にチャレンジし、真の人間力を高めてほしいと願っています。

人との関わりの中で、互いに我慢することや協力することを学ぶことも大切です。さらに、人を思いやり、人に愛される若者に成長してほしいと願っています。今年度も、全校生徒諸君の活躍と成長におおいに期待したいと思います。



○各学年主任より

年度初めにあたり、中高の各学年主任よりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

中等部1学年主任 宮崎 直也

1年生のみなさん、楽しい学校生活を過ごしていますか。全員が楽しいと思えるような心遣いはできていますか。入学式の日初めて制服で登校した日のことを忘れずに、「思いやり」の気持ちをいつでも持ち続けて下さい。運命という偶然で出会った仲間との時間を大切にして、自分自身が成長できたと思える年にしましょう。

最近では、宿題もたくさん出るようになり、部活動も本格的になったと感じていると思います。文武両道を目指し、時間の使い方を工夫して、基本的な生活習慣が確立できるように努力しましょう。

みなさんの個性を最大限に引き出しつつ、充実した学校生活を過ごせるように、学年団の教員一同、精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

中等部2学年主任 曾我 千春

今年のテーマは

「**考えて動く**」です。

日常の何気ない行動・言動には、相手を思いやる気持ちは入っていますか。

自分がされて嫌な事はしないという事はよく言われます。今年は、相手が優しい気持ちになれるようなそんな行動や言葉掛けを意識して下さい。みんなが居心地の良い場所となるように、一人ひとりが考えて行動する、考えて言葉を発して下さい。

そして中堅学年である2年生が、思いやりと優しさをもって、行動・言動をしっかりと行えば、きっと様々な所で良い影響を与え、笑顔あふれる学校になっていく事と思います。

そして、学年の合言葉「ひまわり」



ひ：人に優しく
ま：まあるい心で
わ：笑い合える
り：理想の仲間

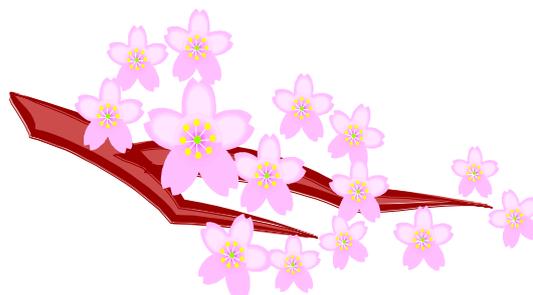
*これを合言葉に、今年も頑張りましょう。
1年間宜しくお願い致します。

中等部3学年主任 金田 太郎

いよいよ最高学年となりました。今年度は本校中等部での3年間の締めくくりであるため、最上級生として学校行事や部活動をリードすることが求められます。部活動では、何としても結果を出したいという思いが強いでしょう。生徒一人ひとりが悔いを残すことのないよう、様々なことに思いっきり取り組んでいって欲しいと思います。

年度の最後には最大のイベントであるニュージランド研修が待っています。前期中間試験以後からは少しずつ、心構えを含めて、準備を始めていくことになります。万全の準備を整えて研修に臨めるよう、学年団一同で指導していこうと計画を進めております。

一方、今年度は高校進学という次へのステップの準備期間でもあります。学年団としましては高校進学をにらみ、最低「60点」を目標に掲げ、生徒が卒業後に学習面・学力面で苦勞することがないように指導してまいります。各ご家庭におかれましては、まず、付属高校進学を含め、進路についてお子様と話し合いいただけますようお願い申し上げます。



高等学校1学年主任 榎 悌宏

新入生の皆さんへ

新しく東海大学付属浦安高校の一員となった皆さんを、心から歓迎します。

学校生活を楽しいものにするために、大切なことを3つ書きます。

1. 急がないこと

「決めるのは早い方がいい」という人もいますが、人には色々なタイプがあります。

自分のペースに合わせてゆっくり慣れていってください。

2. 迷った時、困ったときは誰かに相談する

相談することはダメなことではありません。友達、先輩、先生、それから相談室にはカウンセリングの先生がいます。

3. 自分の力を信じる

あなたの中には素晴らしい可能性が眠っています。自分の力を信じ、努力をして才能を伸ばし、成功につなげよう。

未来はあなたのものです。

高等学校2学年主任 島 晴己子

高校2年生がスタートして、1か月以上経ちました。この学年の良いところは、とても素直な生徒が多いということです。去年は指示されたことだけやっていた人も、今年は主体的に動けるように努力して、中堅学年として、学校全体を引っ張っていく2年生になってほしいと思っています。

この1年間に知り合った友達は生涯の友達になることが多いです。お互いに切磋琢磨して、自分を高める友人関係を作ってほしいです。また、「これしかない」夢を見つけ、その夢の実現のために気持ちを引締めて学習に励み、悔いのない充実した1年にしましょう。

保護者の皆様には、平素より、本校の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。学年団一同張り切っておりますので、本年度もよろしくお願ひ申し上げます。

高等学校3学年主任 片野 賢哉

高校3年生の皆さん進級おめでとうございます。

早いものでみなさんも最高学年になりました。

この一年間はいろいろな意味でとても重要です。また、時の過ぎるのも早いです。日々を大切にしてい悔いを残さないように学校生活を送ってください。さて、充実した学校生活を送れるよう次の4つを目標とします。

- ① 最高学年としての自覚をもたせ、節度があり場に応じた行動がとれる生徒を育成する。
- ② 学習への意欲をもたせ、基礎学力の充実を図る。
- ③ 行事を通じて、クラス・学校への愛着をもたせる。
- ④ 将来への進路を考えさせ、個々の生徒が自らの目標が実現できるよう助言や支援をする。



○学校からのお知らせ

学年団の紹介

中等部			
クラス	1年	2年	3年
学年主任	宮崎 直也	曾我 千春	金田 太郎
1組担任	宮崎 直也	曾我 千春	金田 太郎
2組担任	首藤 智之	古谷 知永	飛塚 雅俊
3組担任	高梨 由佳	中野 寿子	小口由理子
4組担任	鈴木 浩正	土方 敏弘	江原 秀則
学年所属	山田 康雄	浅沼謙多郎	井上 雅晴
	野口 勝敏	北川 典夫	河野 旭
	(宮崎由里)	三浦 徹	石黒久美子
	—	(飯田雅美)	(佐藤昌宏)
高等学校			
クラス	1年	2年	3年
学年主任	榊 悌宏	島 晴己子	片野 賢哉
1組担任	寺田 耕司	竹内 徹	羽根 雅人
2組担任	池田 勝利	深井 実	名古屋大輔
3組担任	富永 廣子	原 文良	福村 正樹
4組担任	大河 恭平	盛 祐二	倉田 滋夫
5組担任	齋藤 信人	大島 文実	渡辺 涼子
6組担任	津上 泰雅	磯部 和也	小川 廣志
7組担任	野町 尚徳	萩原 秀美	大澤 佳子
8組担任	山田 剛	江頭 龍	今鉢 直揮
9組担任	細田 裕子	二口 利章	中尾 龍平
10組担任	—	—	神田 秀樹
学年所属	佐藤 勝美	木下 円香	森下 倫明
	穂積 勉	今澤 秀行	高木 康男
	(高林 茂)	伊藤 明	(古瀬哲也)
	(遠藤陵二)	(石井一視)	(米谷昭人)
	(川満 昇)	(横尾雄二)	(佐々木邦男)
	(酒巻弘美)	—	—

退職・転出・出向者の紹介

氏 名	教科	退職・転出・出向
石井 和幸	保体	定年退職
木本 彰二	司書	定年退職
増田 博康	保体	依願退職
岡本 理美	地歴公民	依願退職
鮎川 眞由美	地歴公民	付属幼稚園・小学校へ転出
池田 信一	国語	付属高輪台高校へ異動
梅津 厚子	養護	付属望星高校へ異動
北村 徹	理科	付属望洋高校へ帰任
村本 千都留	英語	教育開発研究所へ出向
五月女 昌史	理科	教育開発研究所へ出向

転任・新任者の紹介

氏 名	教科	転任・新任・特任
石井 一視	数学	付属翔洋高校から異動
高林 茂	地歴公民	付属望洋高校から異動
名古屋 大輔	保体	スポーツ教育センターから帰任
首藤 智之	国語	新任
池田 勝利	保体	特任
磯部 和也	国語	特任

校長・副校長・教頭・事務長の紹介

校 長	小坂 秀王
副校長	石井 一視
高等学校教頭	古瀬 哲也
中等部教頭	飯田 雅美
事務長	林 知恒